

4/15 11:45' FIX 東京電力株式会社

手許資料 2

本日（4/15）9時の福島事務所定例レク概要を以下の通りお知らせいたします。

4/15 (金) 9時定例レク概要

<説明内容>

- ①「福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ（4月14日 午後6時現在）」【資料配付】
- ②プラント関連パラメータの状況説明（4月15日 6:00現在）【口頭説明】

③本日の作業スケジュール関係【口頭説明】

- 1号機窒素封入状況について
- 2号機T/B、立坑たまり水の移送について
- シルトフェンス設置について（設置終了）
- 鉄板の設置について
- 樹脂散布について
- 集中廃棄物処理施設への廃液受け入れ作業について
- 小型無人ヘリでの試験飛行について
- ガレキ撤去作業について
- 外部電源強化（D/Q、操作盤の高台への移動等）作業について

<主な質疑>

Q. 1号機窒素封入状況について、どのように評価しているか。

A. 評価結果はないが、0.190 MPa（昨日）→0.185 MPa（本日3:00）→0.190 MPa（本日6:00）と変動はあるものの安定していると考える。当初0.250 MPaまで上昇させる予定であったが、0.950 MPaまでの上昇なのでどこか漏えいがあると思われる。周囲の気圧の影響を受けて変化するケースもある。

Q. 漏えいの可能性によるモニタリング等の変化はないか。

A. 変化はない。

Q. 昨日、保安院が3号機圧力容器上部温度が上昇していることに言及したが。

A. 給水ノズル付近は一番が高い場所であるが、上部のみ上昇するのはおかしい。その周辺も含め、継続して確認していく。

Q. 2号機ピットの止水処理について、その後作業状況は。

A. 以前実施した一番海側のピットについては、ピット内外の地盤強化による止水強化を実施した。その後山側等も継続的に実施している。

Q. 2号機トレチの水の量が元に戻った理由は。

A. 止水して出口がなくなったこともあるかもしれないが原因は分かっていない。タービン建屋の水位はあがっていないため、当面監視を継続していく。

Q. 仮設タンクの設置について、設置場所やどのくらいの容量のものをいくつ設置するのか

詳細を教えてほしい。

A. 確認する。

Q. 仮設タンクに入れる水は、どこのものを入れるのか。

A. まだ決まっていない。

Q. 4号機の今日の放水で、水の採取や測定を行うのか。

A. カメラによる確認はするが、水の採取等の予定はない。

Q. メガフロートの塗装は、どこを塗装するのか。

A. 内面（内側）を腐食防止のために塗装する。その後、耐圧試験を実施し使用することになる。

Q. 汚染水の最終処理は、ロシアの処理機械の活用の提案がされているようだが、具体的に決まっているのか。

A. 仏のアレバ社等の意見を聞いて検討していると聞いている。

Q. 1, 2号機の地下水のサブドレンの濃度が上昇しているが、何か流れがあるのでないか。

A. タービン地下のたまり水の水位は上がっていない。トレチだけ上がっているので、今後も状況を継続監視していく。

Q. サブドレンの濃度上昇の原因は。

A. 過去の放射性物質の高い雨水が染みこんだものと思うが、詳細は不明。

Q. 2号機のトレーニングの水位が上昇し、汚染水が流出する可能性があることについてどうか。

A. 流出防止の止水処理をしていくと同時に、水位を継続監視していく。

Q. 100mSv超の中で、社員で一番高い人は。

A. 179.45mSv (4/14、1:13現在) で、現場確認調査を行っている社員。

Q. 3号機の計器不良というのは、全く測れていないのか。

A. 測れているが、周囲と比較して異なる数字が出ているので計器不良とみている。

以上